

埼玉印だより

第148号 平成30(2018)年10月25日発行

発行：埼玉県印刷工業組合 編集・製作：組合広報委員会
〒360-0031 熊谷市末広 1-63 TEL 048(524)4186 FAX 048(524)7680

URL <http://www.saipia.net/>

E-mail info@saipia.net



落日の丘－北海道－

印刷：誠美堂印刷(株)（浦和支部）

〔用紙提供：埼玉会〕

新入社員・若手研修セミナー

昨年、「経営革新計画」が承認され、組合員企業の社員レベルアップの展開として、新入社員・若手研修セミナーを開催しました。このセミナーの特徴としては、印刷関連資格士会会員を始め、印刷業に従事している方に講師を依頼し、印刷業のあれこれを学んでいただくことです。1時間毎に6講座。9:30スタート昼食休みを入れ16:30まで、と無理のないように考え受講者を募集、20名の申込みで、講師も全員快く引き受けてくださり、初めての事業が無事開催されました。

開講式で岩淵理事長が「若手社員研修は、当組合で初めてのことだと思う。講師を務める人は準備の為に勉強し、受講者はそれを学んでいただく。双方にプラスになると思う。研修会で大いに学んでいただきたい。」と挨拶がありました。



受講風景



会社経営とは

(経営者の思い、社会保険、決算、法人税等)

講師：岩淵 均
理事長

印刷業の現状、将来予測、ソリューションプロバイダーへの道、経営者の思い、社員としての心得



プレス

(刷版、印刷、プロセスインクと特色等)

講師：恵 勇人
副理事長

刷版から印刷、水とインキの関係、印刷重要点、デリバリ(排紙)仕事に対する姿勢

ハード

ソフト

材料

提案

人材

教育

明日の印刷業界を考える
MOTOYA

皆様のソリューションプロバイダー

株式会社モトヤは、身近なソリューションプロバイダーとして

これからもいつまでも 埼印工の皆様と歩み続けて参ります。

全国
市場.com

お得意様へのもう一歩踏み込んだサービス——インターネットショップ展開を無料でお手伝い
<http://www.zenkoku-ichiba.com/>



株式
会社

モトヤ

東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711
大阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931

開催される



印刷営業

(印刷の歴史、魅力ある印刷業へ、印刷営業のあり方)

講師：新井 正敏顧問理事

印刷の歴史、魅力ある印刷業へ、印刷人のあるべき姿、知っておくと良い用語



ポストプレス

(断裁、折り、製本等)

講師：(株)ホリゾン東テクノ

中川 三喜雄氏

製本の基礎知識、デジタル印刷向けの後加工



プリプレス

(デザイン、レイアウト、組版、校正、校閲、色校正等)

講師：中原 雅之
印刷関連資格士会常任幹事

プリプレスの工程、企画・レイアウト・原稿作成・デザイン・組版、校正・校閲、面付・刷版、デジカメデータの扱い

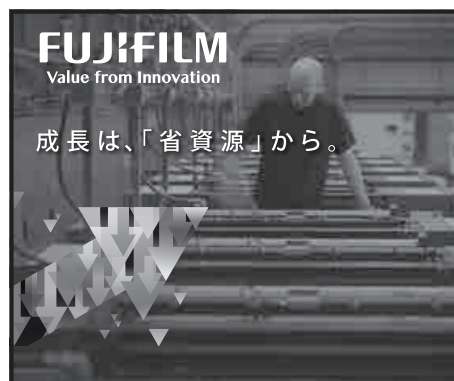


ウェブ

(ホームページ制作、紙とウェブのシナジー効果等)

講師：新井 貴之 印刷関連資格士会副会長

紙とウェブのシナジー効果、ウェブ完成までの流れ、ウェブ制作を進める上で必要なこと、可能性



FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために富士フイルムは提案します—— 成長は、「省資源」から。
材料・工数・水・エネルギー・排出、これまでの「コスト」を減らし利益に還元。
製版・印刷工程を軸にした、独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」があなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。



「減らす」がつくる、クオリティ **FUJIFILM SUPERIA**

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社 本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル 03(6419)0300 ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>

印刷関連資格士会総会

平成30年度第3回印刷関連資格士会総会開催される



講演風景



綱領唱和 金縄会員

平成30年度第3回埼玉県印刷関連資格士会総会が、7月28日（土）鴻巣市民活動センター会議室で開催されました。当日は台風12号の接近が心配される中でし

たが多くの会員のご出席をいただくことができました。

はじめに恒例により印刷産業人綱領の斉唱が金縄会員（たつみ印刷㈱）の先導で行われました。



城戸会長

その後挨拶に立たれた城戸紀夫会長は、組合の教育プログラムへの取り組みに積極的な企業は良い業績を上げていること。また折りしも東京ビッグサイトで開催中のIGASを見学した感想として、多くのメーカーが競って展示しているデジタル印刷機をいかにコンスタントに稼働させるか、という課題を解決するのは営業力やデザイン力と新しい



岩淵理事長

技術へのチャレンジ力だろう。そうした意味でも多くの会員の皆様にこうした集まりを利用して勉強していただくことで新しい分野にチャレンジしていただくことを可能にすることを力説されました。

引き続き城戸会長が議長に選任され、第1号議案、第2号議案ともに滞りなく提案どおり承認されました。その後は岩淵均組合理事長からご挨拶をいただきました。その中で、本日このような悪天候を押してこの総会に出席された会員の皆様は、高い志と向上心を持っている方々であり企業にとっては大変頼もしい存在で

あり会社を支えてくれる貴重な人材であること。また米国の大手新聞社での編集部門の大量リストラの例を持ち出して、いかに世の中の変化に対応してゆくことが重要かについても話されました。そして今後は会員がさらに別の資格取得を目指して欲しい、またスキルのレベルアップを計って欲しい。自分も70歳にして新たな資格取得にチャレンジするつもりであると打ち明けられました。

総会終了後の第Ⅱ部のセミナーでは富士ゼロックス㈱グラフィックコミュニケーションサービス事業本部国内営業統括営業推進部VIP推進グループの鈴木信彦氏と同じくグラフィックコミュニケーションサービス営業部営業2グループマネージャーの関智一郎氏による「提案型営業の実践方法と最新デジタル印刷の活用



講師 鈴木氏



講師 関氏

法」と題し、今印刷業がビジネス領域の拡大のために求められているキーワードは「変革」である。その手法としてCVMをご紹介いただきました。また後半では高付加価値商材として色々なマテリアル紙（機能紙）と活用事例をご紹介いただきました。

その後は懇親会へと移り、冒頭で新道行副会長のご挨拶と新井正敏相談役の乾杯のご発声をいただき、終始和やかなうちに進み、参加会員からも多くの発言も出て、最後は新井貴之副会長の一本締めで散会となりました。

埼玉県印刷工業組合青年部 ▶▶▶▶▶ 活動報告

8月30日(木)埼印工青年部の例会「先輩経営者から学ぶ」及び納涼会が開催されました



例会全体の風景



浅野会長挨拶



(株)アサヒコミュニケーションズ 新井会長 メーカーPRタイムの様子



メーカーPRタイムの様子

まずは、午後6時より、さいたま市宇宙劇場にて「先輩経営者から学ぶ」と題し、今年度の第一回目の例会が開催されました。厳かな雰囲気の中、綱領唱和と浅野会長による挨拶があり、その後今回のメインイベントである㈱アサヒコミュニケーションズ・取締役会長 新井正敏様による講演が行われました。



大川直前会長による
謝辞・御礼

「新井会長の印刷人生50年の道」
「健康」「事業継承」をテーマに、経営に関する様々な経験や考えを率直にお話いただき、これから経営を担うにあたっての心構えなどを勉強させていただきました。講演後の質問タイムでも、様々な質問が飛び交い、そのたびに深いアドバイスをしていただきました。最後に、大川直前会

長による謝辞・御礼をもって、講演は終了となりました。

続いて、例会の度に行われることになったメーカーPRタイムとなり、今回は、溝口洋紙㈱と設楽印刷機材

(株)による、会社の紹介とアピールがありました。

場所を移して、午後8時より、大宮の韓国料理店にて、納涼会が開催されました。

浅野会長による挨拶の後、今回講演をしていただいた(株)アサヒコミュニケーションズ新井会長の乾杯の発声に始まり、大いに盛り上がりました。メーカー・業者も多数ご参加いただき、活発な意見交換をし、また親睦を深めることができました。

第1回目の例会は、以上のように大盛況に終わり、これから埼印工青年部がさらに盛り上がることを予感させる一夜となりました。

**10月13日(土)埼印工青年部のゴルフ親睦
会が開催されました**

今年度第1回目のゴルフ親睦会が「ゴールド栃木プレジデントカントリークラブ」にて開催されました。秋らしい気持ち良い天気となり、和気あいあいと楽しく進行了ました。親睦を深め、これからの活動の英気を養いました。

埼 洋 会 員

* 洋紙のご需要は地元埼玉の洋紙店を*

(株) 大塚紙店 〒355-0328 比企郡小川町大塚一〇八
 ☎〇四九三(七二)〇〇三〇
 代表取締役社長 **大塚 暁**

(株) 共同紙販ホールディングス
 本社 ☎〇三(五八二六)五二七一
 〒110-0014 東京都台東区北上野一・九・一二
 住友不動産上野ビル6F
 北関東支店 ☎〇四八(五七二)二五二五
 〒366-0051 深谷市上柴町東五・二・二二
 代表取締役社長 **郡司勝美**

武 正 (株) 〒367-0047 本庄市前原二・三・二五
 ☎〇四九五(二四)一一七一
 代表取締役社長 **武正進介**

溝口洋紙(株) 〒330-0004 さいたま市見沼区鉦町一・三・三
 ☎〇四八(六八五)〇七二一
 代表取締役社長 **溝口泰男**

(株) 吉岡 〒356-0011 ふじみ野市福岡五六・一・三
 ☎〇四九(二五三)四九八五
 代表取締役社長 **新城 享**

「アドビテクニカルセミナー・ウェブセミナー」を開催



岩渕理事長

城戸委員長

大岡 講師

近藤 講師

平成30年9月8日（土）、鴻巣の㈱アサヒコミュニケーションズ会議室に於いて、アドビテクニカルセミナーを9：30～12：30、ウェブセミナーを13：30～16：30開催した。

第1部アドビテクニカルセミナーは、全印工連特別ライセンスプログラム参加企業にはそのフォロー・スキルアップを図るため、またライセンスプログラム導入を検討している企業にも参加を呼びかけて開催の運びとなった。アドビシステムズ㈱近藤氏が講師で、24名の組合員が参加した。

DTPデータや培ったDTPスキルの活用方法の検

討、印刷物を想定するだけの制作方法だけでなく、デジタルコンテンツ化を見据えたデータ制作への取り組みの考察、DTPで培ったスキルの活用方法、サイネージ、電子書籍、Web & アプリ開発等で必要とされる周辺スキルへのアプローチ方法が紹介された。

第2部ウェブセミナーでは、㈱パワーメディア大岡講師による受注に必要な基本知識を22名が受講。多くの印刷会社がウェブ制作に取り組み、印刷物の受注と相乗効果も期待する中、必ずしも期待通りの利益を得ていない事例が見受けられる。セミナーではウェブ業界の動向、ウェブ制作のディレクション手法、ウェブに関する事業の収益事業化を学んだ。

今回、第1部のみ受講、第2部のみ受講、両方を受講と自由に選んで受講できるような設定で企画した。今後もいろいろな形で学んでいけるよう教育委員会で企画していきたいと考えている。

セミナー感想

●コスモプリンツ㈱4名の感想

- ・構造化HTMLやアクセス解析など、勉強した方が良いものがわかり、とてもよかったです。
- ・イラストレーターCCやフォトショップCCの新しい機能やWebのマーケティングなど、新しい発見があり、今後に役立てようと思いました。
- ・「企業を変革するヒントは社内にある」遠くを見るのではなく、一度立ち止まって、社内で見ていること、強味、問題について見直すことでも新たな知見が得られる。
- ・ヒートマップ解析なるものに興味を持ちました。この内容をうまく編集・営業に反映できると面白くなると思います。

中小企業診断士 菊池明

東洋インキ勤務35年の診断士です。

この様な方 気軽にご一報ください。

- ・補助金を申請したいが、書類を作る手間が大変で困っている。どうしたらうまく承認がもらえるのだろうか。
- ・経営計画や事業計画で経営革新計画や経営力向上計画を申請したい。外部の専門家の目も入れてみたい。
- ・組織や人事制度で古くなってきて今のままでよいのか考えたい。新しい試みもしようと思っている。
- ・生産工程や作業の効率化、コストダウンを図りたい。



■住所：埼玉県北足立郡伊奈町小室7585 電話 080-2343-9449
E-MAIL kikuchisindan@gmail.com

クロスメディア・エキスパート対策講座

合格者の感想



この度の対策講座及び試験を通し、クロスメディアに関する様々な知識を得られただけでなく、他社との交流も大変良い刺激になりました。顧客提案において今まで感覚的な部分がありましたが、一貫性のある提案ができるようになったのではないかと思います。今後も幅広い視野を持って取り組んでいきたいと思っています。

関東図書(株) 鹿嶋麻依子



クロスメディア・エキスパート対策講座では大変お世話になりました。幅広い出題範囲を3回の講座に凝縮して、丁寧に教えてくださった景山先生には大変感謝しております。講座内でのディスカッションにおいても同業他社の方々と良い交流ができました。

講座での学びを社内全体のレベルアップに繋げていければと考えており、今後は、お客様のビジネス戦略に対し、さまざまなメディアへ目を向けて課題を解決してまいります。良い機会をいただきありがとうございました。

(株)秀飯舎 谷口武弘

平成29年度 クロスメディア・エキスパート試験合格者(敬称略)		
支部名	氏名	企業名
浦和支部	大河原 皐月	関東図書(株)
//	杉木 隆浩	//
//	鹿嶋 麻依子	//
大宮支部	谷口 武弘	(株)秀飯舎
行田支部	穴戸 雅典	コスモプリンツ(株)
熊・鴻巣支部	井口 陽司	(株)アサヒコミュニケーションズ
深谷支部	野澤 亨	たつみ印刷(株)
//	坂口 仁志	//
//	加藤 積	//
//	島田 淳子	//
//	新 忠士	//
//	江原 英範	//

クロスメディア・エキスパート対策講座

受験者数	22名
第1部合格者	13名
第2部合格者	9名
免除者	3名
最終合格者	12名

ご活躍を期待しています!

RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社

「Customer's Customer Success (CCS)」の企業コンセプトのもと、お客様とその先のお客様の成功を目指し、商業印刷ビジネス拡大支援をご提案して参ります。

リコージャパン株式会社 埼玉支社

お問い合わせ先 Tel: 048-664-4371 Fax: 048-664-4373

株式会社 **ムトウユニパック**



よいものだけを...

身近な暮らしの中で活躍する封筒やDMなどを中心に、販売促進支援ツールからオフィス用品まで、豊富なラインアップをご用意。「よいものだけを...」というコンセプトのもと、常に人と人の心のふれあいの原点を見つめ続け、高品質なコミュニケーションツールをお届けしてきたムトウユニパックが、あらゆるビジネスニーズにきめ細かくお応えします。

●封筒事業 ●名刺・カード事業 ●手提袋事業 ●エコロジー商品
●SF支援事業 ●ダイレクトメールサービス事業

さいたま支店/埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-698-1
TEL 048-647-6100代 FAX 048-644-4414
<http://www.mutoh-u.co.jp>



処理液・廃液 **ゼロ** の完全プロセスレス
刷版も製版フィルムも出力可能!

Thermal Digiplate TDP-459II / 324II
TDP-750 / TDP-580



三菱製紙株式会社代理店
ダイヤミック株式会社

東京都墨田区両国二丁目10番14号
本社営業部 ☎ 03-5800-1538
東京支社 ☎ 03-5800-1590
URL <http://diamic.jp>

紙資源・エネルギーの消費を抑えた環境への負荷が少ない製品です

循環型 RC100 封筒



heart

環境への負荷が少しでも低い製品をお届けすることにより
復興支援に努めてまいりたいと思います

封筒裏面にマーク・説明文印刷付

ハート株式会社 まずはご連絡下さい

大宮支店 〒331-0811 さいたま市北区吉野町 1-333-7
TEL.048-665-5615 FAX.048-665-5637

多彩な製品ラインナップ はこちら <http://www.heart-group.co.jp>

全日本印刷文化典 高知大会開催される

平成30年10月5日（金）・6日（土）、2018全日本印刷文化典高知大会が、高知市三翠園で開催され、埼玉工組から岩淵理事長始め12名が出席しました。

『土佐で語ろう 印刷の未来』をテーマに、各県からの組合員、来賓、関連企業等総勢540名の出席で、盛大に行われました。

始めに記念式典で、開会宣言、開催工組酒井高知県理事長挨拶、臼田全印工連会長式辞、来賓式辞と続き、組合功労者顕彰で、埼玉工組からも渋谷副理事長と高橋常務理事の2名が受賞されました。次に印刷文化典宣言を高知県青年部中島会長が述べました。



臼田会長



高知酒井理事長

受賞者のことば



受賞(渋谷副理事長)

組合功労者 顕彰状を頂いて
新井正敏 前理事長に声をかけられて副理事長の大任を背負い、あっという間の10年が過ぎました。
お蔭様でそれまで以上に組合活動に集中できました。
そしてこの間自分の存在が組合活動の一助になっていたのなら幸いに思います。この度貴重な賞をいただき組合員の皆様に心から感謝申し上げます。
ありがとうございました。



受賞(高橋常務理事)

この度'18日本印刷文化典高知大会に於いて組合功労者としての表彰を受けました。
今からちょうど20年前の'98日本印刷文化典岡山大会にて当社先代が同じくこの賞を戴きました。
二代に渡り受賞できた事を光栄に思います。
推薦してくださった理事長はじめ役員の皆様、組合員の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。



長野県

続いて、臼田会長による全印工連メッセージ、作家山本一力氏による「刷ればこそ」をテーマにした講演会が行われました。

2日目は、理事長会・青年部会長会議・事務局会議が早朝に開催され、全印工連フォーラムでは、菊地加

印刷文化典 高知宣言

私達、印刷産業は現在に至るまで、社会に情報を伝え、広め、そして残してきました。

見やすく、読みやすく、感性に訴え、感動を伝え、記憶に残る印刷物。活字の時代から大切に培ってきた「ものづくり」へのこだわりです。

時代は変わり印刷産業の装置の進化もさることながら、コンシューマー向けの装置の進化はすさまじく、IT・IoT・AI技術の進化はさらにすさまじいものがあります。社会の急激な変化の中で私達印刷産業は、ものづくりへのこだわりを持ちながらも「ことづくり」に傾注すべきだと考えます。効率よく刈り取ることから、次世代へ向けての種まきをする事に目を向けることが重要と思われまます。

私達の印刷の力を強いものとし、印刷産業がもつ多様な顧客、様々なチャンネルを活かし、地域社会での役割を果たすとともに、豊かな生活と文化を支える産業として、社会に貢献することを宣言します。



山本一力講師



菊地講師

奈子氏による「幸せな働き方改革」へ向けて！ステップ2「目標・計画設定」が解説されました。岩淵理事長が自社で快適度チェック診断を行った結果が9頁から11頁にあります。是非、実際に診断してみてください。

次回2020年の印刷文化典は、関東甲信越静地区が担当、長野県軽井沢で行われます。

長野県を中心に関東甲信越静地区が一致団結して開催に望みたいと思います。

「働き方改革」と「職場の快適度チェック」

理事長 岩淵 均

最近、毎日と言っていいくらい「働き方改革」という言葉を聞きます。10月5－6日高知にて開催された印刷工業組合の全国大会でも、この働き方改革に関するセミナーが2コマ開催されました。一つは全印工連会長による講演であり、もう一つは外部講師による「チェックシート」を利用した「職場の快適さ」分析でした。後者では、参加者全員が35問のチェックシートに回答し、自分で採点をしましたが、全印工連の幹部役員の何社かには予め回答を提出してもらい、その内容を分析してコメントを付けていました。

しかし、幹部役員以外の参加者はその場でチェックシートが配られ、チェックを入れて、自分で採点するだけです。だから殆んど面白みがありません。正直少々時間がもったいないと思っていました。

ところが地元に戻ってくると、一部の人から、「埼玉印工だよりの記事にこのチェックシートを添付しよう」という声が上がって来ました。「埼玉印工だより」に載せるのであれば、会員企業の社員のためになり、経営者のためになり、ひいては会社のためにならなくてはなりません。この位置付けであればチェックシートを実施することに価値があります。

このチェックシートは厚生労働省が開発したものの

ようですから、それなりに役に立つでしょう。そう思っ
て当社で実施してみました。

チェック項目は7領域35問です。7領域の内容は、1キャリア形成・人材育成、2人間関係、3仕事の裁量性、4処遇、5社会とのつながり、6休暇・福利厚生、7労働負荷です。それぞれ5問ありますので全部で35問になります。質問内容を別紙に記載しました。

いずれも簡単な質問ですから回答にそれほど時間はかからないと思います。

但し、回答は「質問の内容を熟慮して、正直に、且つ、客観的に（建設的に）」することが必要です。例えば、領域1の「キャリア形成・人材育成」に関して、全く自分で勉強する気もない人が、「意欲を引き出したり、キャリア形成に役立つ教育が（会社で）行われている」という質問に正しく応えられるでしょうか？会社でそのような機会を与えているにも拘わらず、「そのことを認識していない」可能性もあり得るからです。自分をしっかりと見つめて、熟慮して、正直に、客観的に、建設的に回答してもらうよう十分説明する必要があると思います。

それでは当社のチェックシートの結果を分析してみましょう。

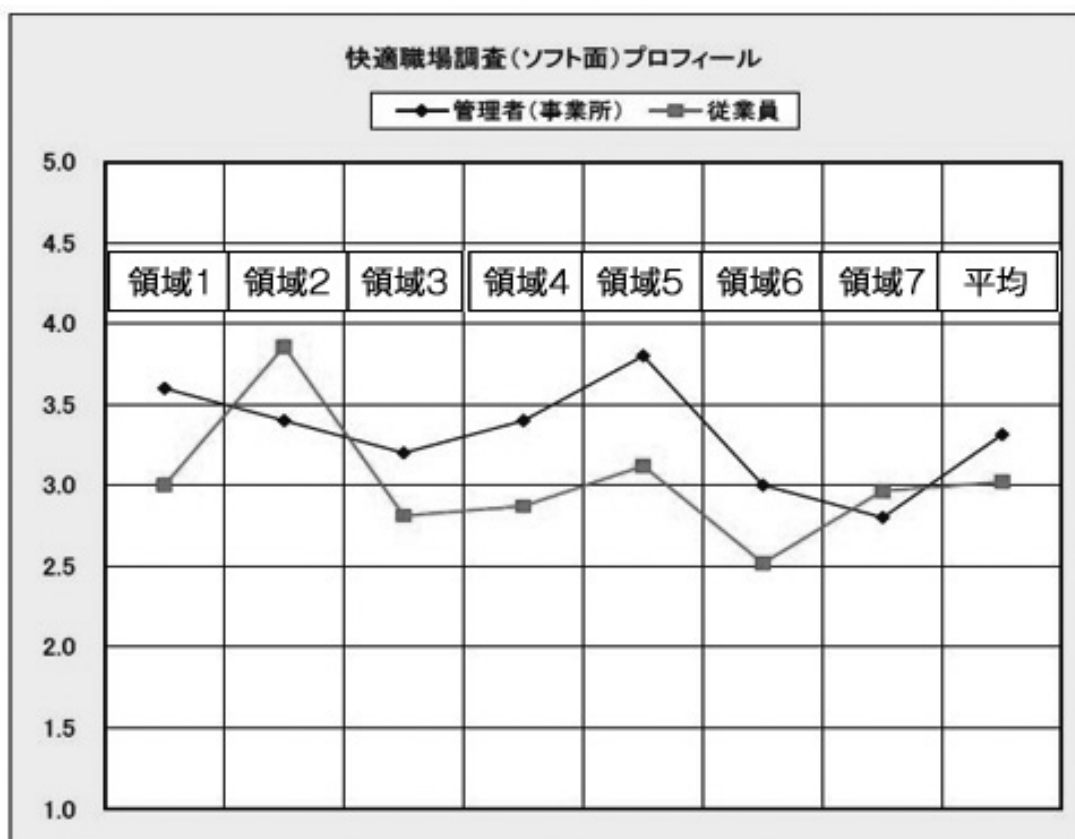
結果分析

	キャリア形成・人材育成	人間関係	仕事の裁量性	処遇	社会とのつながり	休暇・福利厚生	労働負荷	全領域平均
管理者(事業所)	3.6	3.4	3.2	3.4	3.8	3.0	2.8	3.3
従業員	3.0	3.9	2.8	2.9	3.1	2.5	3.0	3.0
差	0.6	-0.5	0.4	0.5	0.7	0.5	-0.2	0.3

全領域平均で管理者が3.3、従業員が3.0なのでほぼ「普通」の評価である（標準範囲の目安は、管理者2.8～3.8、従業員2.5～3.5）。以下、領域ごとに見ていく。

領域1：キャリア形成・人材育成。経営者3.6に対し

従業員2.8と0.8の差がある。会社としては、埼玉印工の資格士会への入会やセミナーの受講及びその費用の補助など力を入れているが、従業員に徹底されていないのかもしれない。



領域2：人間関係。従業員評価が3.8とかなり高い。好意的に見れば職場の雰囲気がいいということであるが、厳しい雰囲気に欠けると言えるのかもしれない。

領域4：処遇。経営者3.4に対して従業員2.7と0.7の差がある。特に、項目16「世間的に見劣りしない給料がもらえる」の評価が2.4となっているのが気になる。経営者としては、印刷業の中小企業の世間的相場に配慮しながら給料を決めているのではあるが。

領域5：社会とのつながり。会社の経営理念として「印刷・出版・ITを通じて社会に貢献する」と掲げているのであるが、工場内部にいと社会のつながりが乏しいと感じるのであろうか。まずは、ウォーキング大会、資格士会、総会、新年会等業界の催物に出席して、外部との接点を増やすことが大切である。

領域6：休暇・福利厚生。この領域は、従業員の評価が2.6と一番低い評価になっている。その原因は、項目26「この職場には世間よりも長い夏季休暇や年次休暇がある」と項目30「心や身体の健康相談のために、社外の医療機関などを気軽に利用できる」の評価が低

いためである。「長い休暇」はないが、「休暇が短い」こともないと思うのであるが、当社は役所の仕事が多いので年末は役所の仕事納めの日まで働いて、翌日から年末年始の休暇としているのでこの1日が影響しているのだろうか。また、「社外の医療機関を気軽に利用できる」に関しては、「気軽に」という表現は、現実的でなく、単に「社外の医療機関を利用できる」という質問に代えるべきであろう。それにしてもこの課題への対応は1社だけでは難しく、組合全体として何か方法がないものかと考える。

従業員全体のサンプル数は58であるが、これを標準範囲（2.5～3.5）及びその上下で分けると、標準に届かない評価が6（10%）、標準範囲内が41（71%）、標準以上の評価が10（17%）となった。評価の分布は比較的まともなものようである。

この調査結果を会社経営に活かし、社員の能力アップを図ると共に会社の業績向上へ繋げたい。

働きやすい職場作りのための 快適職場調査					
	全く 当ては まる	どちら かはま る	い ち ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば ま ら な い	全 く あ て は ま ら な い
下記の設問について、該当すると思う個所に○をつけてください。					
領域1 キャリア形成・人材育成					
1 意欲を引き出したり、キャリア形成に役立つ教育が行われている。	5	4	3	2	1
2 若いうちから将来の進路を考えて人事管理が行われている。	5	4	3	2	1
3 グループや個人ごとに、教育訓練の目標が明確にされている。	5	4	3	2	1
4 この職場では、誰でも必要なときに必要な教育訓練がうけられる。	5	4	3	2	1
5 この職場では、従業員を育てることが大切だと考えられている。	5	4	3	2	1
○を付けた点数を合計し、合計点を5で割り小数点第1位まで記入してください 領域1 合計 点 ÷ 5 = 点					
領域2 人間関係					
6 上司は、仕事に困ったときに頼りになる。	5	4	3	2	1
7 上司は、部下の状況に理解を示してくれる。	5	4	3	2	1
8 上司や同僚と気軽に話ができる。	5	4	3	2	1
9 この職場では、上司と部下が気兼ねのない関係にある。	5	4	3	2	1
10 上司は、仕事がうまく行くように配慮や手助けをしてくれる。	5	4	3	2	1
○を付けた点数を合計し、合計点を5で割り小数点第1位まで記入してください 領域2 合計 点 ÷ 5 = 点					
領域3 仕事の裁量性					
11 自分の新しいアイデアで仕事を進めることができる。	5	4	3	2	1
12 仕事の目標を自分で立て、自由裁量で進めることができる。	5	4	3	2	1
13 自分のやり方と責任で仕事ができる。	5	4	3	2	1
14 仕事の計画、決定、進め方を自分で決めることができる。	5	4	3	2	1
15 自分の好きなペースで仕事ができる。	5	4	3	2	1
○を付けた点数を合計し、合計点を5で割り小数点第1位まで記入してください 領域3 合計 点 ÷ 5 = 点					
領域4 処遇					
16 世間的に見劣りしない給料がもらえる。	5	4	3	2	1
17 働きに見合った給料がもらえる。	5	4	3	2	1
18 地位に合った報酬を得ている。	5	4	3	2	1
19 給料の決め方は、公平である。	5	4	3	2	1
20 この会社の経営は、うまくいっている。	5	4	3	2	1
○を付けた点数を合計し、合計点を5で割り小数点第1位まで記入してください 領域4 合計 点 ÷ 5 = 点					
領域5 社会とのつながり					
21 自分の仕事は、よりよい社会を築くのに役立っている。	5	4	3	2	1
22 自分の仕事が、社会と繋がっていることを実感できる。	5	4	3	2	1
23 自分の仕事は、世間から高い評価を得ている。	5	4	3	2	1
24 自分の仕事に関連することが、新聞やテレビによくでる。	5	4	3	2	1
25 今の職場やこの仕事にかかわる一員であることに、誇りに思っている。	5	4	3	2	1
○を付けた点数を合計し、合計点を5で割り小数点第1位まで記入してください 領域5 合計 点 ÷ 5 = 点					
領域6 休暇・福利厚生					
26 この職場には、世間よりも長い夏期休暇や年次休暇がある。	5	4	3	2	1
27 この職場では、産休、育児休暇、介護休暇がとりやすい。	5	4	3	2	1
28 この職場では、年次有給休暇を取りやすい制度や雰囲気がある。	5	4	3	2	1
29 この職場には、心や身体の健康相談にのってくれる専門スタッフがいる。	5	4	3	2	1
30 心や身体の健康相談のために、社外の医療機関などを気軽に利用できる。	5	4	3	2	1
○を付けた点数を合計し、合計点を5で割り小数点第1位まで記入してください 領域6 合計 点 ÷ 5 = 点					
領域7 労働負荷					
31 仕事はいつも時間内に処理できる。	5	4	3	2	1
32 全体として仕事の量と質は、適当だと思う。	5	4	3	2	1
33 残業、休日、休暇を含めていまの労働は適当だと思う。	5	4	3	2	1
34 翌日までに仕事の疲れを残すことはない。	5	4	3	2	1
35 家に仕事を持ち帰ったことはめったにない。	5	4	3	2	1
○を付けた点数を合計し、合計点を5で割り小数点第1位まで記入してください 領域7 合計 点 ÷ 5 = 点					
領域1～領域7の合計点を合計した数を35で割り小数点第1位まで記入してください 総合計 点 ÷ 35 = 点					

(この調査票は <https://www.jisha.or.jp/kaiteki/soft/index.html> のサイトにあります)

平成30年度 関東甲信越静地区印刷協議会、 静岡大会開催される



参加者



荻野静岡理事長

平成30年7月6日(金)、関東甲信越静地区印刷協議会が、静岡県ホテルアソシアにて開催され、埼玉印工組から岩淵理事長始め8名が出席した。

最初に全体会議があり、主管県の静岡工組鈴木実行委員長の歓迎挨拶の後、全印工連滝澤副会長から、「今年は役員改選で、関東甲信越静地区でも6名の理事長が、会長も江森会長に交代しました。全印工連が発信する各種情報の源として、地区協が一層機能することを期待します。」そして今期掲げた『「Happy Industry ～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業～について』の概要説明を受けた。『ソリューション・プロバイダーへの進化』『印刷道』『2025計画 新しい印刷産業へのリ・デザイン』に続く冊子は、挑戦を続ける会員企業に対する支援として今後組合が展開する事業のロードマップという位置づけです。1社では解決できない課題に対し組合のもとに仲間が集うことにより解決する、会員にとって役に立つ組合の姿です。」

続いて全印工連池田常務理事が「幸せな働き方改革の必要性」について話された。

「なぜいま、働き方改革をする必要があるのか? ステップ1、働き方改革の必要性を理解する。ステップ2、目標を設定し、計画を立てる。ステップ3、業務プロ



滝澤副会長



恵組織委員長発表



江森協議会会長

セスの見直しに着手する。ステップ4、就業規則や人事制度を整備する。ステップ5、賃金制度・評価制度を整備する。ステップに沿って働き方改革を実行、『良い人が集まる会社にしていくこと』が大きなテーマになる。」

長島事務局次長からの事業報告があり、会場を移動し、理事長会・分科会でそれぞれの委員会で活発な議論が交わされた。分科会報告では、埼玉印工組の恵副理事長が今年度より組織共済委員会の委員長になり、委員会報告で発表した。

式典で江森地区協議会会長挨拶、また退任役員に感謝状贈呈、次期開催県の茨城工組松本理事長が「来年は茨城県でお会いしましょう。」と参加を呼び掛けた。閉会。懇親会で交流を図り、再会を約してお開きとなった。

nagaikai
ISO9001認証取得

一貫生産だからできる自信と信頼

株式会社 永井機械製作所

〒332-0031 埼玉県川口市青木4-3-11
TEL 048-251-0901 FAX 048-255-4674

URL <http://www.nagaikikai.co.jp> E-mail sales@nagaikikai.co.jp

TFTカラーディスプレイコンピュータ断裁機
NCW-D7シリーズ(160.137.116.182)



普段はなかなかお会いすることのない埼玉印工組合員の事業所のすてきな社員の方をご紹介します。

第16回は、株式会社シンボさんです。

Vol.16 株式会社シンボ 新保 元美さん



我が社の **すてき社員** **ZOOM UP!**

(株)シンボは、47年目突入しました。

家族、使用人で、私は経理・営業・納品の仕事を日々しております。

印刷に関してはまだ未熟な部分が多く、上司・先輩にお世話になっております。

ここ数年、アナログからデジタルへ進んで紙ベース注文が少なくなってきましたが、細々と続けさせて頂いております。

休みの日は、ピアノの練習をして息抜きしている今日この頃です。



定期健康診断・有機溶剤健診・ストレスチェック
あなたの会社まで検診バスで出張健診にうかがいます!

TEL 0493-81-6029 FAX 0493-81-6749

公益財団法人埼玉県健康づくり事業団

URL <http://www.saitama-kenkou.or.jp>

埼玉県比企郡吉見町江和井410-1



モリサワ

組版編集ソフトウェア

MC-Smart 3

複雑な組版を直感的で簡単な操作で実現。

POINT 1

数式編集や表組、索引など
複雑な組版にも幅広く対応

POINT 2

自動組版機能で容易に
大量ページ制作が可能

POINT 3

Word入稿における作業効率の
向上とミス削減を実現

株式会社モリサワ www.morisawa.co.jp



第21回親睦ウォーキング大会、 台風の為中止!!

平成30年9月30日(日)、武蔵丘陵森林公園南口で開催予定のウォーキング大会は、台風予報の為中止となりました。始まって以来中止は初めてのことで、とても残念でした。

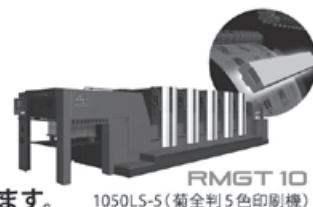


リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

東日本支社 〒114-0003 東京都北区豊島5-2-8 TEL 03-3927-1031

LED-UV PRINTING SYSTEM

RMGTは2008年から、
LED-UV印刷の市場を牽引しています。



RMGTが2008年に世界で初めて発売したLED-UV印刷システム。省電力の画期的なUV印刷システムとして革新を起こし、短納期・生産性向上・環境印刷によって、オフセット印刷の世界を様変わりさせました。発売から9年が経過した今、LED-UVの先駆者として蓄積したノウハウと技術力でRMGTはオフセット印刷に関わる、お客様の様々な課題にお応えています。

<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

バックカーボン・ナンバーリング印刷

カッターミシン・伝票丁合・セパレートワックス・減感加工

信頼と技術、ガッツなパートナー

株式会社 深谷カーボン

〒360-0004 埼玉県熊谷市上川上952-5

電話 048-520-1649 FAX 048-520-1410

ホームページ <http://www.ksky.ne.jp/~youichi/>



豊かな新世紀を拓く

新しい時代の「企業づくり」のアドバイザー

- 印刷関連機器・材料販売
- Macintosh・Windows出力・教育・保守サービス
- ITビジネス支援事業



Human Balance

SHITARA

設楽印刷機材株式会社

本社 〒379-2154 前橋市野中町158-1 TEL027(261)7000(代) FAX027(261)7700
宇都宮営業所 〒320-0843 宇都宮市花園町17-1 TEL028(633)8324(代) FAX028(635)8385
埼玉営業所 〒360-0012 熊谷市上之540-15 TEL048(521)9851(代) FAX048(527)0562



残暑の候、埼玉県印刷工業組合会員におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
今回、下記要領にて見学ツアーを開催させていただきますので、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

2018年

11月16日(金)

場所

富士ゼロックス株式会社 海老名事業所

時間

JR さいたま新都心駅集合 11:15
現地見学 14:00~16:30
JR さいたま新都心駅解散 18:30(予定)
※状況により、変更となる場合がございます。

【見学予定スケジュール】

- | | |
|-----------------------|-----|
| 2F Smile Garden のご紹介 | 30分 |
| 1F Smart Factory のご紹介 | 50分 |
| 2F Smile Garden のご見学 | 30分 |
| ラップアップ | 40分 |
- (富士ゼロックスの AI 開発や取り組みなどの紹介を含む)

【Future Edge のご案内】

「Future Edge」は、富士ゼロックスがお客様と共にグラフィックコミュニケーションの未来に向けた変革を起こしていく場です。
技術開発拠点である海老名事業所内にすることで、営業やシステムエンジニアだけでなく、開発や生産の担当者も直接お客様と課題を議論しながら、新たなビジネスモデルの実現に向けて迅速に動くことを可能にしています。

【Smile Garden】

多様性に富んだ人びとがともに暮らすコミュニティにおいて、より豊かな社会を実現するコミュニケーションのあり方を考え、新しい気付きを得る場です。

【Smart Factory】

印刷業務の上流から下流までを IoT の観点から一つの集合と捉え、全体の見える化やシステム連携など、最新デジタル技術を活用した最先端の生産工場のあり方を体験できます。



共催 | 富士ゼロックス埼玉株式会社
富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社

FUJI XEROX 

埼玉

我が街



紹介

コンパクトシティ 蕨！

蕨市は東京都心から約20kmに位置し、海拔3～5m前後の平坦地です。5.11平方kmと全国一小さい市域に約7万人が生活し、人口密度の高さも全国一位となっています。

古くは中山道の江戸から二番目の宿場として、慶長年間に成立したといわれ、町部には本陣2軒・脇本陣1軒・問屋と高札場が1か所ずつあり、旅籠も23軒あったといへん賑わっていたようです。江戸幕府第14代将軍・徳川家茂の正室になった皇女和宮も蕨宿本陣で休憩して江戸へ入りました。現在は歴史民俗資料館をはじめ史跡を見て廻るガイドツアーなどで歴史あるまちを案内しています。

また、終戦間もない昭和21年11月に全国に先駆けて蕨で第1回の成年式が挙行され、蕨市では「成年式」とは言わず、「成年式発祥の地」として現在も盛大に開催されています。

主な祭事は、苗木市・藤まつり（4月29日）、塚越あさがお・ほおずき市（7月上旬）、わらび機（はた）まつり（8月上旬）、和楽備神社例大祭（10月中旬）、ハロウィン仮想パレード（10月下旬）、中仙道宿場まつり（11月3日）、おかめ市（12月17日）です。

今、町おこしとして力を入れている事業は「双子織みらいプロジェクト」です。江戸時代の末、イギリスの木綿糸と最新の染料をヒントに2本の糸を一組に織る今までにない鮮やかな縦縞の織物を生み出し、大好評になりました。これにより蕨の町は織物の生産地手として名をはせました。その蕨の宝である伝統織物「双子織」を復元し、衣料品をはじめバッグや小物などに広く使用し、一部は「蕨ブランド」の認定を付けて普及を図っています。市内には双子織で作った日除けやのれんが掛っている商店や会社が100以上もあります。さらには、蕨で誕生した日本一早く実を付ける「わらびりんご」を使ったご当地サイダーや「大人のプリン」や「蕨大人ドレッシング」など蕨の名品も生まれています。蕨という字が書けない人には「蕨書き順Tシャツ」があります。

国道号線を車で走るとあっという間に通りぬけてしまう小さなまちですが、自慢がたくさん詰まったコンパクトシティ蕨へ是非お出かけください。

文責 城戸 紀夫



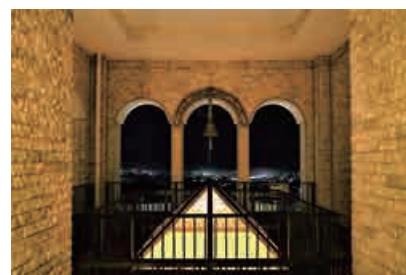
成人式発祥の地 像



ヒール&レール 東上線川越市駅構内にて



夏の訪れ 越生線川角付近にて



鐘のある展望台 NEOPASA 駿河湾沼津にて

六三四堂印刷(株) 宮田敦彦

すてきな作品お待ちしています

皆様の自慢の作品を募集しています。ご応募、お問い合わせは埼玉県印刷工業組合事務局まで。奮ってご応募ください。